

【得意料理】



田川センター所長

男女共同参画センターに異動してきてから半年が過ぎた。妻からは「家庭での男女共同参画はまだか？」と迫られながらも「ただいま勉強中」と答えている。「いつまで勉強中？」と問われれば「人間死ぬまで勉強だ」と嘯く。とは言え、もともと共働きだったせいもあり晩ご飯を作ることもある。得意料理は「スパサラ」。ゆがいたパスタにりんご、ハム、きゅうりを刻んでマヨネーズとあえ、レタスの上に盛っただけのシンプル料理だが、子ども達に受けがいい。きゅうりと下に敷くレタスが野菜だけのサラダで、マヨネーズを使い過ぎると若干カロリーが高めなのが難点だが、お父さんの株が上がる。他にも「長崎ちゃんぽん」「皿うどん」も作る。どれも麺類で結局のところ自分の好みで作っている。最近ではマグロの柵を買ってきて薄く切り、たれに漬け込んでご飯に乗せる「漬け丼」や「豚のしょうが焼き」にも挑戦している。いずれも子ども達からは高評価で感謝されている。

「たまに作るからかなあ」と思いつつも嬉しいものである。妻からは「おいしい・おいしい」の連呼。これはまづくてもおだてておこうという作戦か。

6月に開催した「さんかく塾」講師の石蔵文信先生は、フライパンひとつで作る「男のええ加減料理」を提唱されていて、その話を伺って「なるほど」と思い、手間をかけないことも良いことだと認識し、料理研究家の土井善晴さんの著書「一汁一菜でよいという提案」でも料理に対するハードルを下げることで毎日の食事作りのストレスから解放され、男も女も心身ともに健康で豊かな生活が送れると教えてくれている。

「男女共同参画」と大上段に構える前に、自分自身の家庭生活の中のちょっとした事から取り組むこと、それもいくらかハードルを下げてみることでやってみたい。だけども妻から「家庭での男女共同参画はいつから？」と聞かれても、まだしばらくは「今は勉強中」と答えることにしておこう。

図書・資料室 定年退職を迎えられました富山郁子さん ありがとうございます。



平成10年滋賀県立男女共同参画センターとご縁があり司書として19年間勤務してまいりました。一時は閉室の危機になった時、存続を求める要望書の署名活動に動いてくださって図書・資料室は存続することができました。その後も予算の関係で司書の人員も減らされ派遣社員となり2014年からIYOU 淡海さんが受諾して下さってからは、ようやく司書の仕事に邁進することができるようになりました。

G-NET シネマが始まった最初の担当だった事もあり予算がゼロになってからはボランティアを申し出ました。滋賀県立男女共同参画センターG-NET しが 専門図書・資料室の司書という仕事はとてもやりがいがある仕事でした。利用者様からレファレンスや何気ないお話は新しい出会いと楽しい思い出をたくさん作ってくれました。IYOU 淡海さんの理解ある職場で仕事できたことはラッキーとしか言えません。本当にお世話になりました。(退職後もG-NET シネマをボランティアでお手伝いしていただいています。)

使用済み切手を集めています

今世界では、一日に800人以上の女性が妊娠や出産が原因で命を落としています。集められた切手は換金され、支援活動費に充てられます。



収集箱は事務局に置いています。

皆様のご協力をお願いします。



I YOU 淡海

いつでもどなたでもご入会いただけます!! 私もあなたも家庭で、職場で生き生き輝く人に!

- 1) 入会金 1,000円
- 2) 年会費個人 3,000円
- 団体 3,000円
- 3) 賛助会員(年) 一口2,000円

(発行元) 近江八幡市鷹飼町105-2

特定非営利活動法人  
男女共同参画をすすめる会・I YOU 淡海  
事務局 Tel. Fax 0748-37-8615

平成29年11月  
第13号

発行所・NPO法人  
男女共同参画をすすめる会・I YOU 淡海

「みんながつくる住みよさと活気あふれる甲賀市」

<~甲賀市長を訪ねて~>

Q) 甲賀市の男女共同参画の取組みについて

A) 価値観の多様性が進む昨今、多様性に答えられる地域づくりに取り組んでいかなければ、子育て世代の流出や子どもの減少などの課題が解決できないことから、男女共同参画社会をしっかりとつくっていくことが住みやすさにつながり課題の解決につながるという思いで取り組んでいます。平成29年4月に、産業経済部に女性活躍推進室を設置し、職場の理解、共働き世帯への対応など解決に向けて力を入れています。

また、保育園の0歳児の受け入れ拡大、山間地域ではこれまでは難しかった2歳児からの受け入れ、終了時間の30分延長など、保護者が安心して働けるようにきめこまやかに取り組んでいくよう改革しています。また、平成29年7月に策定した甲賀市男女共同参画計画(甲賀市女性活躍推進計画)では家庭と地域における男女共同参画、働く場における男女共同参画、男女が共に安心して暮らせる社会づくりを基本目標に掲げています



インタビュー風景  
甲賀市 岩永裕貴市長



にんじゃえもん



Q) 女性に期待すること

A) 女性が自分の夢を追いかけ、いきいきと暮らしている姿は家族にとっても、特に子どもにとって何よりも大切な事だと思います。のびのびとした子育て、充実した毎日を過ごしてもらえるような社会、夢を叶えられる甲賀市を目指しています。是非、甲賀市で子育てしてみてください。

Q) 女性の活躍推進について

A) 平成29年11月3日に甲賀市役所管理職130名と市内企業23社と一緒にイクボス宣言をしました。私も宣言し働きやすい環境づくりに取り組みます。長時間働くイコール評価という今までの価値観を変え、勤務時間内の効率性を考えた環境づくり等、企業の皆さんと取り組んでいきたいと思っています。



Q) 女性管理職員への登用について

A) 女性の管理職  
2020年 国の目標 30%  
2017年4月現在 甲賀市 35.71%  
女性も管理職として活躍できる環境ができています。

Q) 女性へのメッセージ

A) 女性が自分の夢を追いかけ、いきいきと暮らしている姿は家族にとって、特に子どもにとって何よりも大切な事だと思います。のびのびとした子育てができ、何かに挑戦したい、もう一度社会に出てみたいなど多様性が受け入れられ夢が叶えられる甲賀市をつくっていききたいと思っています。応援しています。



Q) 子育て支援について

A) 平成29年4月に子育て世代包括支援センター「ここも〜り」をオープンしました。妊娠から出産、子育て期と新米ママさん達の相談や未就学児の遊び場としてワンストップでご利用いただけます。室内公園があり保育士もいて安心して遊んでいただける施設で、交流の場としてオープン当初よりたくさんの方にご利用いただいています。





# 『障害者支援事業所 いきいき さん』を訪問しました

誰もが暮らしやすい地域づくりをめざして

障害があっても、この街で仲間と働きたい！  
そんな願いを大切に地域と共に歩みます。

障害者支援事業所いきいき所長 岡田 乃婦恵さんにお話を伺いました



事業内容：生活介護・日中一時支援  
定員：34名  
開所時間：月～金 9:00～15:30  
作業内容：さをり織り、かみずき、製菓  
廃品回収、パソコン、下請け等  
取組：芸術の取組み、リハビリ、自治会活動、  
旅行、土曜日余暇支援等

五つの作業グループに分かれて「働く」事を大切に取組まれています。

- ① おかし班(スイーツグループ)  
カフェレストラン「スプーン様」の委託でスコーン等をレシピ通りに作成。
- ② おかし班(青空グループ) 出来上がったお菓子を心をこめて配達。
- ③ あい工房 ポーチ、めがねケース等心を込めて手作り。

- ④ パソコン班 地域の催し物などで使用される金券、チラシ、名刺等の作成。
- ⑤ かみずき班 牛乳パックを再利用したオリジナルでレターセット等の作成。

その方に適した作業を提供していて、障害の重い方についても工夫して取り組んでいます。「働いて給料をもらって帰る」その部分を大切にしておられ、それぞれのペースで作業をされていました。ゆっくりではありますが「やりがい」や「よろこび」を感じてもらい、生きがいを持って取り組んだ結果、お給料がもらえるので頑張れると話して下さいました。

## 作業風景



## スタッフの勤務体制や働き方について

□ 職員(パート含む) 男性7人 女性18人 合計25人

正規職員の勤務時間は午前8時45分～午後5時30分。平均して1日に30人前後の方が通所される中、利用者1.7人につきスタッフ1名の比率で職員が配置されています。

女性が多い職場の為、育児休暇は本人が希望すれば2歳まで取得可能で、復帰後も就学前までの短時間勤務が可能とのことでした。急な休みにも対応できるように職員数も比較的多く配置されています。

所長の岡田さんによると「職場環境が整備されたことでパート勤務者も産後に復帰するケースが増え経験豊富な職員が勤め続けられるようになってきています。「私が職員だった頃は1年の育休を経て保育所に加えて祖父母の協力を得て働く人が多かった。今は夫婦で協力して乗り越えていかれる方が増えたように思う」とお話ししてくださいました。

## きぬがさまつり

(今年は「希望に輝け・みんなの願い」をテーマに開催しました。)



ステージプログラム



クラウンサーカスさん



和歌山よりお越し頂いた 紀州連(阿波踊り)



あづち信長出陣太鼓



社会的事業所ゆうのメンバーがメンテナンスを実演



模擬店



～後記～

建物の中は車椅子が使える十分な広さ、採光面、窓、高い天井、木のぬくもり感のある壁面等、癒しの空間が広がっていました。移動が困難な方の(移乗)(のりかえ)にリフトが安全に使えることを知りました。事業所内での生活の場において共に働くこと、一人一人が出来ることをやる等「いきいき」さんの明るい未来を感じた取材でした。

## 平成29年度 IYOU 淡海 活動報告

託児サポータースキルアップ(保育士・現託児サポーター)講座 ①6/29 ②6/30 ③7/6 終了



ワークショップ「シフォンケーキ作りから始めませんか」11/10 終了  
たくさん参加頂き、好評でした。★G-NET フェスタにて販売決定★



Woman ネット講座 もうひと花! 咲かせよう 「バランスボール」 ①11/22 終了  
②12/6(水) 10時～ ★定員残りわずかです★

